

# ウイルス性腸炎について

内科



福本 学

ウイルス性腸炎の流行が毎年話題になります。吐き気や嘔吐、下痢、腹痛、発熱などの症状がみられ、体力の弱い患者さんは脱水状態から重症化することがあります。ウイルスのついた手でふれたものを口にすることで、感染がおこります。電車のつり革やお金など、どこにウイルスが付着しているのかわかりません。外出から帰ったらすぐに、よく手を洗いましょう。家族内に嘔吐・下痢をしている人がいたら、洗面所のタオルは家族でも共有せず、ペーパー

タオルを使うことをおすすめます。ウイルスは下痢便や嘔吐したものを扱った手でふれたものに付着します。吐物のついた衣服は塩素系漂白剤につけおきます。ノロウイルスの検査は現時点では保険がきくものではありません。ノロウイルスに対する特別な治療はなく、脱水にならないよう対処します。こまめな水分補給を心がけてください。

内科

新百合山手福本内科

☎955-8877

麻生区万福寺6-7-2

メディカルモリノビル2F

<http://www.fukumotonaika.jp>

